

令和8年度児童福祉文化賞〔映像・メディア等部門〕受賞作品

映画『手でふれてみる世界』ユニバーサル版上映会

*ユニバーサル版：日本語字幕、音声ガイド（視覚障がい者向け）付き

愛知県美術館は、触察による美術鑑賞をテーマとしたドキュメンタリー映画『手でふれてみる世界』の上映会を開催します。この映画は、イタリア中部・マルケ州にあるオメロ触覚美術館を舞台に、岡野晃子監督により制作された作品で、子ども家庭庁の令和8年度児童福祉文化賞〔映像・メディア等部門〕を受賞しています。

オメロ触覚美術館は、視覚に障がいのあるアルド・グラッシーニと妻ダニエラ・ボッテゴニが1993年に創設した、彫刻に触れて鑑賞することのできる美術館です。世界80か国以上を旅し、自然や生きものに手で触れて出会ってきた二人は、美術館の作品だけは触れられないことに疑問を抱き、この美術館をつくりました。1999年には国立の美術館となり、視覚に障がいのない人も訪れる、すべての人に開かれた館となっています。2018年から同館に通い始めた岡野監督は、「この美術館で目にしたこと、人と人との関係、そのすべてを誰かと共有したい」という思いから、2020年にカメラを回し始めました。映画には、人と触れ合うことが困難なコロナ禍の中で、オメロ触覚美術館で働く人の活動や来訪者の様子、作品を寄贈した彫刻家、故ジュリアーノ・ヴァンジとこの夫妻の交流などが記録されています。

愛知県美術館は1998年から、「視覚に障がいのある方との鑑賞会」を、地域のボランティアと共に開催してきました。触察と対話によるこの鑑賞会は、作品を深く理解し新たな発見をする活動であると同時に、美術館と地域の人々が共に美術文化の担い手として育っていく大切な場ともなっています。作品に触れることを通して、そこに関わる人々の間に深い交感が生まれる瞬間や感動を描き出すこの映画には、当館の活動とも相通ずるものがあります。この映画が、多様な特性を持つ方々との鑑賞についての理解を深める機会となれば幸いです。

上映後のアフタートーク（手話通訳付き）では、東海地域の美術館で行われてきた、触察を伴う鑑賞活動の歩みを、岡野監督と共に振り返ります。

- 日 時：2026年11月8日(日) 13時30分～16時
(開場13時／映画上映60分／アフタートーク（手話通訳付き）／途中休憩有)
- 会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースA
名古屋市東区東桜1-13-2
- アクセス：地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車／名鉄瀬戸線「栄町」駅下車
オアシス21連絡通路利用徒歩3分

■主催：愛知県美術館

TEL：052-971-5511(代) FAX：052-971-5617

美術館ウェブサイト：<https://apmoa.museum/>

■定員：先着 180 名

■入場無料・事前申し込み不要

■アフタートーク（手話通訳付き）

登壇者

岡野晃子（映画『手でふれてみる世界』監督）

角田美奈子（名古屋城調査センター学芸員）

深山孝彰（愛知県美術館主任専門員）

藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

広報掲載に関する問合せ先

ご掲載記事について、日時・会場・電話番号などの基本情報確認のため、校正原稿を下記担当までFAX
もしくはメールでお送りいただけますようお願い致します。

広報担当：中村・神谷 TEL：052-971-5511（代） FAX：052-971-5617

e-mail：press-apmoa@apm.or.jp

上映会の内容に関する問合せ先

担当：藤島・深山 TEL：052-971-5511（代）

記事等には、本上映会の問合せ先として以下をご掲載ください。

愛知県美術館

TEL：052-971-5511（代） e-mail：apmoa@apm.or.jp

記事作成に関するお願い

画像（図版）の使用を希望される場合は、広報担当までご相談ください。追って画像を提供いたします。
画像をご使用の際には、所定の作品クレジットを必ずご記載ください。